

# 未来へ(東中だより)

第18号 令和4年3月1日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ  
「知性・感性・耐性」を  
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/

## 令和時代を生きる 全校集会の話から(一部省略)

2月22日の全校集会では、今日は「令和時代を生きる」という内容で以下のような話をしました。

「ソサイエティ(Society)5.0」という言葉を聞いたことがありますか。ソサイエティというのは「社会」という意味です。つまり、人類が誕生してから5段階目の社会の形態を迎えるということです。1つ目の社会は原始的な「狩猟社会」、2つ目が人間が定住しての「農耕社会」。そして18世紀から19世紀にかけてイギリスから起こる産業革命による大量生産の「工業社会」、これがソサイエティ3.0でした。

やがてコンピュータが発明され情報化が進行します。これが「情報化社会」ソサイエティ4.0です。さらに、今ではAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット制御)が導入されて「超スマート社会」ソサイエティ5.0に向かっていっているとされています。内閣府が制作した「すぐそこの未来」という動画が配信されています。それを見るとイメージがしやすいです。ドローンが時間ぴったりに注文した靴を配達し、AIスピーカーに向かって指示を出せば、昼食用のパンをコンビニで受け取れる。農業は無人化され、バスも定時に無人走行でやってくる。上白石萌音さんがでてくる映像で、90秒と5分のもがあります。

それでは、このような時代になることをふまえて、皆さんはどのように学び、どのように生きて行けばよいのでしょうか。

インターネットによるビッグデータの構築がなされることから、多くの知識や技術を知ることができます。これはとても便利なことです。しかし、知識は正しく効果的に使わなければ生きてきません。AIができないこと、つまり、知識を活用して新しい分野を切り開く「活用力」「発想力」を鍛えることが大事です。また、最近の学習状況調査やSAGAテストや高校入試の問題に見られるような、資料から大切なことを読みとって、理由を説明するような「読解力」「表現力」が必要です。

加えて、自動化が進むことは間違いありません。便利で時間の効率化につながります。しかし正しい「判断力」をもっていないと、AIやIoTに人間が振り回されることとなります。自動制御をストップしたりチェンジしたりするのは人間だと言えます。

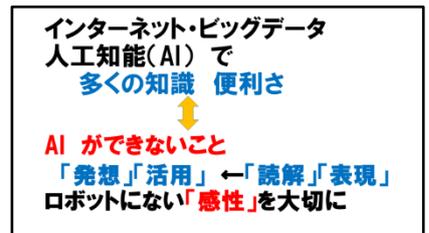
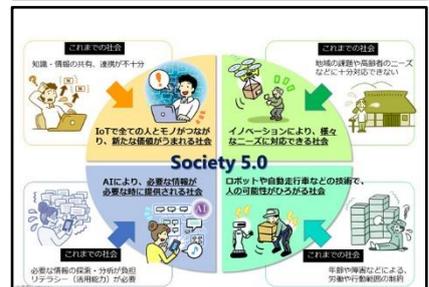
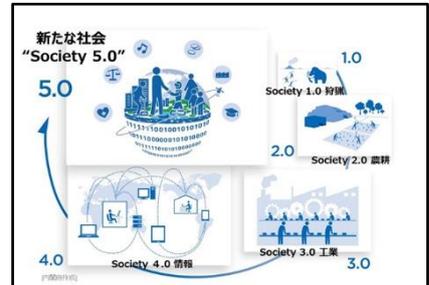
私は、これからの新しい時代を長く生きることができる中学生をうらやましく思います。ぜひこのような「令和の時代」を生きることをふまえて、ロボットにない「感性」を大事にし、良好で充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。

## ◆◇3年生 いよいよ県立高一般入試◆◇



3月8日～9日は、いよいよ県立高校の一般選抜です。先週は、全職員が参加しての面接練習を行いました。どの生徒も、明確な志望の動機や将来への考えなどを自分の言葉で述べていました。私立高校前期試験の事前指導の折に、わが身の体験を踏まえ、「落ち着きすぎてボカをすることも。少しだけ緊張して試験に向かってください。」と伝えています。体調をしっかり管理し、ほどよい緊張感をもって臨み、実力を発揮してくれることを願っています。

\*3月11日の卒業式は、式場に家族2名まで、教室に家族1名までとしています。1名のリモート対応にご理解をお願い致します。



## 2年生 マナー検定

かつて本校で行われていたマナー検定を復活させました。理由は、今年度から校内研究で高めようとしている「学習マネジメント力」とキャリア教育が、深く結びついているからです。

つまり、「向かう力(目標設定力)」と「見つめる力(自己理解・管理力)」がなければ、「やり抜く力」を発揮できないと考えます。

実際のマナー検定では、3年生の面接練習と同じように、入退室態度、声の大きさ、着席姿勢、立ち姿、礼法、言葉遣い、回答内容を10点満点で判断します。

2月25日の検定では、ほとんどの生徒が A または B ランクの合格点に達しており、特に「夢や目標」についての説明が良くなされ、成長のほどがうかがわれました。

ただし、入退室態度や礼法にはまだ課題がありました。来年の今頃までにはレベルアップしていることだと思います。



## 2年生 プログラミング授業

2月22日に、2年生のプログラミング授業を行いました。本事業は、まち未来課とタイムカプセル株式会社のご協力によるもので、タイムカプセル株式会社の相澤社長自ら、合計4時間の授業を行っていただきました。

「アップルのパソコンも最初は木箱に入っていた。」という話から始まり、「ゲームアプリを作る」という学習を展開されました。和気あいあいとした雰囲気です。アプリ制作に向かう2年生の姿が楽しそうでした。



## 2年生 AED 講習会

2月28日に神埼消防署の真島恵介係長と2名の署員をお招きして、AED講習会を行いました。

救急車が来るまでにやるべき心臓マッサージを全員が体験しました。1分間に110回のリズムで行いましたが、「思ったより力が必要だった。」との声が聞かれました。

AEDの使用については、時間と機材の関係で3割程度の生徒の体験にとどまりましたが、感染防止対策を徹底しながらも、講習の機会を持てたことに感謝しています。



## 1年生 職業人に学ぶ会

2月25日に1年生のキャリア教育の一環として、4人の社会人を招聘して「職業人に学ぶ会」を開きました。



どの講師の皆さんもわかりやすくするためのお話をしていただきました。感想を読むとそれがよくわかりました。生徒が書いたお礼状の一部を抜粋して、以下に掲載します。

### ◆あいちゃん農園 森田浩文さまへ

「あいちゃん農園では、年間300種もの野菜を育てられていると聞いて、すごいと思いました。また外国人にも購入されているということは、それほど広く愛されているんだとわかりました。」

「たくさん失敗したから今がある、という話を聞いて、失敗を恐れずに自分の将来の夢に向かっていこうと思いました。」

### ◆株式会社 JTB 松尾浩平さまへ

「JTB=旅行会社のイメージだったのですが、ワクチン事務局の立ち上げなど、全く関係のないものもされていると知ることができました。」

「このお仕事を通して、お客様から笑顔や感謝、お手紙をもらうなどのうれしいことがあるからこそ、やりがいを感じているのかなと思いました。」

### ◆吉野ヶ里町役場 福島伸裕さまへ

「役場の仕事は、町の人が安全・快適・健康に暮らせるためなんだとわかりました。」

「職業や目標へ向かって行くには、失敗を恐れずにチャレンジして、石の上にも3年のように継続していくのが大事だとわかりました。」

### ◆肥前精神医療センター 行武雅子さまへ

「病院で最も大切な人は患者さんであるという言葉、心に刺さりました。私もいつか作業療法士になり、人の役にたつことをしたいです。」

「患者さんへの思いやり、気づかいなどが、看護師に大切なことだとわかりました。家族の悩みに寄り添うのも看護師の仕事だと、初めて知りました。」

## <表彰>

### ○神埼地区新年書き方会

毛筆入選 吉村彩芭 栢木華凜 廣瀬結空  
藤井結菜 中村太飛 川崎愛美  
井上陽愛 小池快士 古舘和武

毛筆特選 嘉村 媛

硬筆入選 中島菜奈 藤井沙羅 陣ノ内すみれ  
野中綾乃 原 優佳 阿部奨真  
川上清菜 中村 佑菜

硬筆特選 安藤由芽 長野笑和  
岩永希来

